

## THE RIVER FACE

2007年7月、2009年5月にボスニア・ヘルツェゴビナで開催された世界大会の表彰台に上がることを目標に結成。その世界大会で総合2位を獲得。その後5名が引退、10月に新たに1名を加え4人制の世界大会を目指して再始動していました。

- 阿部雅代 (キャプテン)  
ポジション：左後ろ  
1978年生 愛媛県出身  
(有)サファリ所属
- 竹村碧 (副キャプテン)  
ポジション：左前  
1982年生 高知県出身  
(株)ベルカディア所属
- 浅井裕美  
ポジション：右前  
1979年生 大阪府出身  
三野田中病院勤務
- 小林裕子  
ポジション：右後ろ  
1984年生 埼玉県出身  
(有)サファリ所属

### チームコメント

「三好市の皆さんのおかげで獲れた世界一です。大会へ行くまでも、帰ってきてからも、温かい声援をいただき嬉しかったです。これからも市内でボートを漕いだり、走っていたりしているので気軽に声をおかけください。たくさんのご支援ありがとうございました」



写真提供：柏倉陽介氏

# THE RIVER FACE 世界制覇

三好市の吉野川に拠点を置く、競技ラフティングの女子日本代表チーム「THE RIVER FACE (ザ・リバーフェイス)」がラフティング世界大会において、昨年の2位を超える総合優勝を果たしました。

大会は7月12日から17日のあいだ、オランダ西部のズーテルメルで開催され、女子部門は15か国が参加して開催されました。ラフティングの世界大会は世界ラフティング協会が開催し、今年をはじめ4人制の大会を行い、今後6人制と交互に毎年開催します。

ザ・リバーフェイスは短距離の「スプリント」と、設けられたゲートをくぐる「スラローム」でそれぞれ4位に入り、最終日を残して総合5位につけていました。そして、17日の長距離種目「ダウンリバー」では2位に1分近い大差をつけてゴールし、総合826点。2種目を終えて1位のスロバキアとの差146点を逆転し、わずか2点差で栄冠を獲得しました。

メンバーは、逆転した最後のダウンリバーには自信を持っていたそう。絶対表彰台に上がるという気持ちで負けなかったこと、現地に早く入って練習したことが勝因だと語っていました。

今大会では男子日本代表の「ラフティングチーム・テイケイ」も総合優勝し、日本代表は男女ともに総合優勝という快挙を成し遂げました。

チームは今後、2年後の4人制大会での連覇を目標に、技術面と精神面を鍛えていきたいと抱負を語りました。来年行われる6人制の世界大会も、メンバーが揃えば挑戦したいと語っていました。

メンバーは帰国後、優勝の報告のため市役所を訪れ、また、市からはチームに功労表彰をおくりました。



▶ 左から儀市長、阿部さん、竹村さん、浅井さん、小林さん、西村コーチ